

埼玉親善大使レポート

活動場所： イタリア

氏名： 塚本 旭

イタリアでの交換留学

私はイタリアのトリノ大学にて約10か月間の交換留学を行いました。トリノはイタリアの北部に位置しており、地中海性気候の夏は高温で乾燥し、冬は温暖で雨が多くなるという特徴があります。特に夏は気温が35度程度に上がることもあるにもかかわらず、エアコンの普及がされておらず、窓を開けて風の通り道を作ったり扇風機でしのいでいました。また、夏は日照時間がとても長く22時ごろまで明るい日もありました。これにより涼しくなってから行動することになっても外でピクニックやスポーツを楽しむことができました。

異文化交流と成長

トリノではキッチンとバスルームを4人でシェアする形のアパートに住んでいました。フラットメイトは皆イタリア国外から来た学生であったので、イタリアにいながらフランス、コロンビア、チリ、インドなど様々な国の文化や価値観に触れることができよい刺激になりました。休日など、授業のない日は友人たちとスポーツをしたり、葡萄畑にピクニックに行くところがよくありました。また、毎週開催されている蚤の市という野菜や果物、アンティークや洋服などが幅広く取引されている活気のある市場に頻繁にいきました。イタリア語を話すことができると、店主の方が快く割引に応じてくれるので何とか会話ができるように勉強をしました。

留学初期は言語の壁や環境の変化に大変苦しみました。友人ができるまでは孤独を感じることも多くありましたが、この苦境を乗り越えることができたことは自分がどんな環境でも順応できるという自信につながりました。また、留学中は一人でいる時間も多くあり自分が将来したいことなどについて深く考え、自分の内面に目を向けることもよくありました。留学をしなければこのように自分自身も見つめなおすことはしなかったと思うので非常に良い経験であったと感じました。また、留学を通して海外をキャリアプランの一つとして具体的にとらえることができるようになりました。留学前は海外で働くということは、「英語が流暢でないといけない」といった漠然とした不安がありました。しかし、現地での学びや生活を通して多様な国籍の人々と協同し議論し、価値観を共有することで英語力に対する不安は薄れていきました。むしろ、異なる視点を持つ人々と意見を交わすことの面白さや、自分の考えを異文化の中で伝えるスキルの重要性を実感するようになりました。

埼玉県の PR 活動

留学中、埼玉県の魅力を紹介するにあたり、秩父の自然を PR しました。日本に来た外国の人たちは地理的に便利なこともあり埼玉県内を幅広く観光するというよりは東京に観光に行くことが多いと感じていました。しかしながら、秩父では夏はライン下りを楽しめたり、秋は美しい紅葉を楽しむことができたり、冬や春には温泉で日々の疲れを癒すことができます。話を聞いてくれたフラットメイト、友人、教授は埼玉に強い興味を持ってくれました。中にはその場で Google マップにピンをさしてくれる人もいました。

まとめ

10 カ月の留学を経て、学業面では実社会に材料科学がどのように応用されているのかについて幅広い知識を得ることができ、インターンにより実践的なスキル、実験手法、研究の進め方などの能力を養うことができました。また、埼玉県の魅力を海外の人々に伝える活動を通して、埼玉県には自然豊かな場所から近代的な場所まで幅広くあり、その魅力について改めて再認識しました。今回の経験、学びを多くの人に共有するとともに、今後の人生において埼玉県、ひいては日本国内に還元できるよう生活していきたいと考えています。

